



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7554 URL https://hd.kourakuen.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 昇  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月21日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	26,565	△30.5	△1,729	-	△969	-	△841	-
2020年3月期	38,237	△7.3	660	△59.6	823	△48.1	△677	-
(注) 包括利益	2021年3月期		△781百万円(-%)		2020年3月期		△731百万円(-%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△55.99	-	△23.7	△6.0	△6.5
2020年3月期	△45.03	-	△15.3	4.9	1.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	17,198	3,163	18.4	210.43
2020年3月期	15,356	3,933	25.6	261.78

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,163百万円 2020年3月期 3,933百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	797	△550	1,016	2,905
2020年3月期	918	△778	△1,605	1,642

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	-	10.00	-	0.00	10.00	151	-	3.8
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	8.1	100	-	250	-	100	6.65
通期	28,800	8.4	300	-	600	-	250	16.63

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	16,774,841株	2020年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,739,625株	2020年3月期	1,749,255株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	15,031,288株	2020年3月期	15,041,067株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,618	△23.4	27	—	140	—	92	—
2020年3月期	12,554	△8.1	△213	—	△31	—	△976	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	6.15		—					
2020年3月期	△64.93		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年3月期	16,015		6,168		38.5	410.28		
2020年3月期	14,037		6,060		43.2	403.35		

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,168百万円 2020年3月期 6,060百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	5,000	6.9	70	—	30	—	1.99	
通期	10,000	4.0	220	56.8	100	8.0	6.65	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計上の見積りの変更) .....	14
(追加情報) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
4. その他 .....	17
(1) 販売の状況 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により厳しい状況にあり、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては2020年4月発出の1度目の緊急事態宣言を受けて、営業時間短縮や休業および外出自粛による来店客減少の影響で売上が減少しました。緊急事態宣言の解除後、Go To Eat キャンペーン等の施策により、持ち直しの動きがみられたものの、感染再拡大を受けた営業時間短縮要請や外出自粛要請により、引き続き厳しい経営環境が続いております。直近では、2021年1月における2度目の緊急事態宣言の発出に加え、2021年4月における3度目の緊急事態宣言の発出もあり、当連結会計年度のみでなく、2022年3月期の第1四半期においても既に大きな影響を受けております。

このような経済環境の中、当社グループは、イートイン中心の外食産業からデジタルTechを活用した総合食品企業への変革を目指し「デリバリー、テイクアウト等の中食産業での売上割合を高める施策」や「SBR Tech化」等の施策を推し進めてまいりました。更に、固定費管理の徹底等によるコスト削減に積極的に取り組み、収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高26,565百万円(前連結会計年度比30.5%減)、営業損失1,729百万円(同営業利益660百万円)、経常損失969百万円(同経常利益823百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失841百万円(同親会社株主に帰属する当期純損失677百万円)となり、当連結会計年度末のグループ店舗数は454店舗(前連結会計年度比28店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

## ① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「中華そば」、「中華そばプレミアム」、「餃子極」をコアメニューとしながら、「酒田のふわとろワンタンメン」「減塩(GABA)醤油らーめん」「三元豚チャーシューめん」「養老乃瀧の養老牛井を使った年越し中華そば」等の期間限定商品を随時投入しました。

また、店舗展開につきましては、既存ドミナントエリアの強化と利益率改善を目的として、抜本的構造改革に伴うスクラップ16店舗を実施いたしました。なお、店舗数は、直営店411店舗(前年同期比16店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」410店舗、「KOURAKUEN THE RAMEN CAFE」1店舗となりました。

この結果、売上高は23,575百万円(前連結会計年度比31.8%減)となりました。

## ② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、店舗数は17店舗(国内12店舗、海外5店舗)となりました。その他外食事業につきましては、12店舗のスクラップを実施し、「いきなり!ステーキ」直営店4店舗、「焼肉ライク」直営店10店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店5店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は2,990百万円(前連結会計年度比18.7%減)となりました。

	前連結会計年度		当連結会計年度		前連結会計年度比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ラーメン事業	34,560	90.4	23,575	88.7	△10,985	△31.8
その他の事業	3,677	9.6	2,990	11.3	△686	△18.7
合計	38,237	100.0	26,565	100.0	△11,671	△30.5

## (2) 当期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当連結会計年度末	増 減
総資産	15,356	17,198	1,841
負債	11,422	14,034	2,611
純資産	3,933	3,163	△769
自己資本比率	25.6%	18.4%	△7.2%
1株当たり純資産	261.78円	210.43円	△51.35円

## (資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,841百万円増加し、17,198百万円(前連結会計年度末比12.0%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,817百万円増加し、4,627百万円となりました。これは、現金及び預金1,207百万円、流動資産「その他」に含まれる未収入金591百万円の増加等によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、12,570百万円となりました。これは、建物及び構築物292百万円、敷金及び保証金273百万円の減少及び繰延税金資産584百万円の増加等によるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2,611百万円増加し、14,034百万円(前連結会計年度末比22.9%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,478百万円増加し、8,356百万円となりました。これは、短期借入金1,000百万円、未払費用838百万円、未払消費税等735百万円の増加等によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、5,677百万円となりました。これは、長期借入金287百万円の増加等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ769百万円減少し、3,163百万円(前連結会計年度末比19.6%減)となりました。これは、利益剰余金841百万円の減少等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	918	797	△121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△778	△550	227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,605	1,016	2,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△1,466	1,262	2,728
現金及び現金同等物の期首残高	3,108	1,642	△1,466
現金及び現金同等物の期末残高	1,642	2,905	1,262

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,262百万円増加し、2,905百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、797百万円の収入(前連結会計年度は918百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前当期純損失の計上1,404百万円、減価償却費の計上1,219百万円、減損損失の計上555百万円、未払費用の増加額836百万円、未払消費税等の増加額735百万円、その他の資産の増加額502百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、550百万円の支出(前連結会計年度は778百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出713百万円、敷金及び保証金の回収による収入234百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,016百万円の収入(前連結会計年度は1,605百万円の支出)となりました。これは、短期借入金の純増額1,000百万円、長期借入れによる収入1,300百万円、長期借入金の返済による支出748百万円、リース債務の返済による支出545百万円等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	29.9%	20.9%	27.1%	25.6%	18.4%
時価ベースの自己資本比率	103.9%	151.9%	217.3%	133.5%	149.7%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	582.2%	316.5%	123.0%	322.9%	566.6%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	15.5倍	17.7倍	52.1倍	20.1倍	14.3倍

(注) 自己資本比率：(純資産－新株予約権－少数株主持分)／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社グループは取り巻く環境と中長期的な経営戦略を踏まえ、食の安全・安心の実現を最優先課題としつつ、「ALL NEW 幸楽苑」のスローガンのもと、利益重視の戦略を推進してまいります。

具体的には、売上・利益の源泉は店舗であり、本社や工場はこれをサポートする立場にあるという「店舗ファースト」の姿勢を明確にし、原価や人件費等の削減や食品ロスの削減を進め、SDGsにも貢献する経営を進めてまいります。またタブレット、ロボット、サイネージなどの店舗への設置や、テレワークや株主優待券の電子化など、デジタルトランスフォーメーションを軸とした業務改革も推進してまいります。

このような経営戦略をもとに、2022年3月期は売上高288億円、営業利益3億円の連結業績見通しとさせていただきます。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当連結会計年度内に2度の緊急事態宣言が発出されたことを受けて、店舗の休業や営業時間短縮等を行いました。その結果、売上高が大幅に減少し、営業損失を計上することとなり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対して、イートイン以外での商品提供の拡充、新規事業の立上げ及び、人件費を含めての固定費の削減等を実施するとともに、2021年3月31日時点で、総額47億円のコミットメントラインの新規契約の締結及び契約の延長を行い、十分な運転資金を確保できたことから、資金面での問題は解消したと判断しております。以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では現在、日本基準を適用して財務諸表を作成しており、現時点においては当面の間、日本基準の適用を継続していく予定であります。しかし、今後の外国人株主比率の推移や当社グループの事業展開の状況及び資金調達環境の変化等に備えるため、社内のマニュアルや指針等の整備等、IFRSの任意適用に関する検討は進めてまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,697,906	2,905,317
売掛金	285,017	365,517
たな卸資産	280,230	269,662
その他	547,143	1,087,080
流動資産合計	2,810,297	4,627,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,725,715	12,201,663
減価償却累計額	△8,401,124	△8,170,054
建物及び構築物(純額)	4,324,591	4,031,609
機械装置及び運搬具	740,890	792,112
減価償却累計額	△595,103	△621,448
機械装置及び運搬具(純額)	145,786	170,664
土地	1,363,012	1,363,012
リース資産	6,898,776	7,260,133
減価償却累計額	△4,678,170	△5,129,914
リース資産(純額)	2,220,605	2,130,219
建設仮勘定	310	-
その他	459,179	749,837
減価償却累計額	△330,882	△423,392
その他(純額)	128,297	326,444
有形固定資産合計	8,182,604	8,021,949
無形固定資産		
借地権	88,638	81,515
その他	89,825	71,122
無形固定資産合計	178,463	152,638
投資その他の資産		
投資有価証券	152,175	158,295
敷金及び保証金	2,084,849	1,811,004
繰延税金資産	798,182	1,382,892
その他	1,151,173	1,045,048
貸倒引当金	△1,380	△1,380
投資その他の資産合計	4,185,000	4,395,860
固定資産合計	12,546,068	12,570,448
資産合計	15,356,366	17,198,028



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,024,167	822,524
短期借入金	-	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	748,782	1,012,112
リース債務	511,151	496,354
未払金	906,578	1,110,579
未払費用	1,180,356	2,018,617
未払法人税等	109,492	85,987
未払消費税等	824,748	1,559,921
店舗閉鎖損失引当金	265,438	36,753
転貸損失引当金	22,115	17,222
その他	285,344	196,349
流動負債合計	5,878,176	8,356,423
固定負債		
長期借入金	2,216,347	2,504,235
リース債務	1,299,371	1,302,917
退職給付に係る負債	322,157	328,687
転貸損失引当金	54,655	30,188
資産除去債務	801,377	765,703
その他	850,756	745,969
固定負債合計	5,544,666	5,677,701
負債合計	11,422,842	14,034,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	2,988,273
資本剰余金	3,084,016	3,084,016
利益剰余金	440,395	△401,281
自己株式	△2,414,791	△2,403,329
株主資本合計	4,097,893	3,267,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	797	4,952
退職給付に係る調整累計額	△165,167	△108,727
その他の包括利益累計額合計	△164,370	△103,774
非支配株主持分	-	-
純資産合計	3,933,523	3,163,903
負債純資産合計	15,356,366	17,198,028

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	38,237,705	26,565,903
売上原価	10,845,777	7,656,284
売上総利益	27,391,927	18,909,618
販売費及び一般管理費	26,731,406	20,639,492
営業利益又は営業損失(△)	660,521	△1,729,873
営業外収益		
受取利息	14,626	15,261
受取配当金	3,275	3,120
固定資産賃貸料	511,290	502,116
新型コロナウイルス感染症による助成金	-	716,729
その他	236,428	153,190
営業外収益合計	765,620	1,390,418
営業外費用		
支払利息	45,423	57,970
固定資産賃貸費用	506,700	455,039
その他	50,343	116,668
営業外費用合計	602,468	629,678
経常利益又は経常損失(△)	823,673	△969,134
特別利益		
固定資産売却益	1,500	6,807
受取保険金	575,397	51,434
収用補償金	-	154,806
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	32,195
その他	60,843	58,922
特別利益合計	637,740	304,166
特別損失		
固定資産売却損	27	-
固定資産廃棄損	19,075	18,283
減損損失	1,038,405	555,088
店舗閉鎖損失引当金繰入額	239,550	-
災害による損失	320,633	-
その他	293,521	166,524
特別損失合計	1,911,213	739,896
税金等調整前当期純損失(△)	△449,799	△1,404,863
法人税、住民税及び事業税	158,850	47,395
法人税等調整額	68,758	△610,583
法人税等合計	227,608	△563,187
当期純損失(△)	△677,408	△841,676
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△677,408	△841,676

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△677,408	△841,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△367	4,155
退職給付に係る調整額	△54,144	56,439
その他の包括利益合計	△54,512	60,595
包括利益	△731,921	△781,081
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△731,921	△781,081
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,988,273	3,035,541	1,418,822	△2,387,640	5,054,995
当期変動額					
剰余金の配当			△301,018		△301,018
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△677,408		△677,408
自己株式の取得				△249,854	△249,854
自己株式の処分		48,475		222,703	271,179
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	48,475	△978,426	△27,150	△957,101
当期末残高	2,988,273	3,084,016	440,395	△2,414,791	4,097,893

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,165	△111,022	△109,857	17,630	—	4,962,768
当期変動額						
剰余金の配当						△301,018
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△677,408
自己株式の取得						△249,854
自己株式の処分						271,179
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△367	△54,144	△54,512	△17,630	—	△72,142
当期変動額合計	△367	△54,144	△54,512	△17,630	—	△1,029,244
当期末残高	797	△165,167	△164,370	—	—	3,933,523

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,988,273	3,084,016	440,395	△2,414,791	4,097,893
当期変動額					
剰余金の配当			—		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△841,676		△841,676
自己株式の取得				△287	△287
自己株式の処分				11,749	11,749
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△841,676	11,461	△830,215
当期末残高	2,988,273	3,084,016	△401,281	△2,403,329	3,267,678

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	797	△165,167	△164,370	—	—	3,933,523
当期変動額						
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△841,676
自己株式の取得						△287
自己株式の処分						11,749
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,155	56,439	60,595	—	—	60,595
当期変動額合計	4,155	56,439	60,595	—	—	△769,619
当期末残高	4,952	△108,727	△103,774	—	—	3,163,903

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△449,799	△1,404,863
減価償却費	1,289,725	1,219,468
減損損失	1,038,405	555,088
和解金	151,500	-
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	207,113	△185,435
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	28,271	△29,358
新株予約権戻入益	△8,675	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	138,827	6,530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,200	-
受取利息及び受取配当金	△17,901	△18,381
支払利息	45,423	57,970
投資有価証券評価損益 (△は益)	△645	△190
固定資産売却損益 (△は益)	△1,472	△6,807
固定資産廃棄損	17,312	2,745
売上債権の増減額 (△は増加)	205,068	△80,500
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,992	10,567
その他の資産の増減額 (△は増加)	96,591	△502,903
仕入債務の増減額 (△は減少)	△465,688	△294,178
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,023,876	836,067
その他の負債の増減額 (△は減少)	△148,459	△67,249
未払消費税等の増減額 (△は減少)	422,040	735,173
その他	△106,041	126,767
小計	1,418,512	960,509
利息及び配当金の受取額	13,760	16,286
利息の支払額	△45,546	△55,432
和解金の支払額	△151,500	-
シンジケートローン手数料の支払額	△3,745	△61,719
法人税等の支払額	△313,195	△62,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	918,283	797,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△185,954	△605
定期預金の払戻による収入	228,800	55,642
有形固定資産の取得による支出	△1,002,422	△713,003
有形固定資産の売却による収入	6,540	7,505
無形固定資産の取得による支出	△21,084	△570
有価証券の売却による収入	8,045	-
投資有価証券の売却による収入	10,385	-
敷金及び保証金の差入による支出	△32,895	△1,761
敷金及び保証金の回収による収入	97,735	234,794
預り保証金の返還による支出	△36,010	△34,160
預り保証金の受入による収入	18,650	41,670
保険積立金の積立による支出	△28,644	△28,644
保険積立金の解約による収入	198,051	-
建設協力金の回収による収入	62,521	52,337
その他の支出	△102,337	△163,863
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△778,617</b>	<b>△550,658</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△568,141	△545,828
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	1,000,000
長期借入れによる収入	-	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△748,782	△748,782
自己株式の取得による支出	△249,854	△287
自己株式の売却による収入	262,224	11,749
配当金の支払額	△301,018	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,605,572</b>	<b>1,016,850</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△110</b>	<b>△332</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,466,017	1,262,959
現金及び現金同等物の期首残高	3,108,376	1,642,358
現金及び現金同等物の期末残高	1,642,358	2,905,317

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務)

店舗等の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積額の変更を行っております。見積りの変更による増加額9,117千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

(追加情報)

(コロナウイルス関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年4月～5月および2021年1月～3月に緊急事態宣言が発出されたことを受け、当社グループにおいては、来店お客様数の減少、店舗の休業及び営業時間の短縮等により売上高が減少しております。

新型コロナウイルス感染症の影響については、2020年4月の既存店売上高が前年同月比50.0%まで減少したものの、9月には77.9%まで回復し、下期は前年度の台風の影響からの回復も含めて平均83.0%と一定の回復の兆しが顕れました。一方で感染症の収束時期が明確に見込めないことから、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、感染症による影響が2020年12月頃までに回復するとの仮定を変更し、状況は改善するものの当連結会計年度末以後も一定期間はこの状況が継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や固定資産の減損損失の認識要否の判断等を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「ラーメン事業」のみであり、セグメント情報の開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。



当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	643,681	376,635	18,088	1,038,405

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	171,000	376,539	7,548	555,088

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	8,410	—	—	8,410
当期末残高	30,139	—	—	30,139

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	8,410	—	—	8,410
当期末残高	21,728	—	—	21,728

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	261.78円	210.43円
1株当たり当期純損失(△)	△45.03円	△55.99円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—円	—円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 株式給付信託(J-ESOP)によって設定される信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。  
1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度235,700株、当連結会計年度225,900株であります。  
1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度239,371株、当連結会計年度229,937株であります。
4. 株式給付信託(BBT)によって設定される信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。  
1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度119,500株、当連結会計年度119,500株であります。  
1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度43,513株、当連結会計年度119,500株であります。
5. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失			
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(千円)	△677,408	△841,676
普通株主に帰属しない金額	(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	(千円)	△677,408	△841,676
普通株式の期中平均株式数	(株)	15,041,067	15,031,288
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—	—

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目		前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額	(千円)	3,933,523	3,163,903
純資産の部の合計額から控除する金額	(千円)	—	—
(うち新株予約権)	(千円)	(—)	(—)
(うち非支配株主持分)	(千円)	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額	(千円)	3,933,523	3,163,903
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	(株)	15,025,586	15,035,216

## 4. その他

## (1) 販売の状況

## ① 品目別販売実績

(単位：千円)

期 別	前連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日		当連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日		比較増減	
	売上高	百分比	売上高	百分比	金 額	比 率
品 目		%		%		%
直営店売上						
らーめん類	22,791,650	59.6	13,625,575	51.3	△9,166,074	△40.2
セット類	6,165,382	16.1	5,247,764	19.8	△917,617	△14.9
ギョーザ	2,940,824	7.7	1,894,631	7.1	△1,046,192	△35.6
ごはん類	1,130,047	3.0	926,041	3.5	△204,005	△18.1
ドリンク類	851,566	2.2	526,819	2.0	△324,747	△38.1
洋・和食類	2,680,175	7.0	1,923,709	7.2	△756,465	△28.2
その他	1,090,810	2.9	1,917,650	7.2	826,840	75.8
計	37,650,456	98.5	26,062,193	98.1	△11,588,263	△30.8
FC店等材料売上	513,871	1.3	451,717	1.7	△62,153	△12.1
ロイヤリティ収入	62,588	0.2	40,179	0.2	△22,409	△35.8
そ の 他	10,789	0.0	11,813	0.0	1,023	9.5
合 計	38,237,705	100.0	26,565,903	100.0	△11,671,802	△30.5

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。  
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

## ② 地域別販売実績

(単位：千円)

期 別	前連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日			当連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日			比較増減		
	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数	金 額	比 率	店舗数
地域別		%	店		%	店		%	店
東北	12,048,155	32.0	144	9,041,370	34.7	141	△3,006,784	△25.0	△3
関東	18,981,286	50.4	259	13,423,150	51.5	243	△5,558,136	△29.3	△16
東海	3,206,434	8.5	20	1,162,874	4.5	17	△2,043,559	△63.7	△3
北陸甲信越	2,822,435	7.5	37	1,954,308	7.5	33	△868,127	△30.8	△4
関西	592,143	1.6	5	480,489	1.8	3	△111,654	△18.9	△2
計	37,650,456	100.0	465	26,062,193	100.0	437	△11,588,263	△30.8	△28

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。  
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。